

東京教区時報

2003年7月20日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3 6 18
編集人 英 久子

2003年

東京教区フェスティバル

9月15日(月・休) 10:30～

会場 / 立教女学院



「主の平和」って…

Copyright by Etsunobu Nakagawa

今年も教区フェスティバルのご案内をする時期になりました。今年は、9月15日(月・敬老の日)に立教女学院で行います。恒例となった教区の年中行事ですが、これまでその年にふさわしいテーマと内容で行ってきました。今年のテーマは、「主の平和」です。実行委員が集まってテーマを

相談した頃、イラクを巡る世界の情勢が緊迫しているときでした。一昨年のニューヨークにおける「9・11事件」以来、世界は大国の強大な力で動かされるようになり、報復、攻撃、そして戦争、といった言葉が新聞紙面を大きく占めるようになりました。そしてまた、「事件」を契機に、世界中が平和について議論し、平

和の実現を願って行動し、熱心に祈るようになったのも事実です。そのような情勢の中で開催する今年の教区フェスティバルでは、平和をテーマにすることを実行委員会は決めました。今年も東京教区成立八〇周年の年に当たります。これまでの教区の歴史は必ずしも平穏ではなく、痛みを伴う混

乱もありました。そして今も新たな傷を負いながら歩みを続けています。教区フェスティバルでは、これまでの痛みや傷を振り返りながら、これから平和を求め、共同体として新たな一歩を踏み出そうではありませんか。

わたしたちは毎主日の礼拝(聖餐式)の中で、「主の平和」と声を掛け合って平和の挨拶をしています。復活したイエスが弟子たちの前に現れ、「あなたがたに平和があるように」と言われたことを思い起こしながら、お互いの平和を願い、あるいは平和であることを喜び、感謝し、あるいはまた平和であることを確かめ合うときになっています。

弟子たちに対して呼びかけられたイエスのみ言葉は、今のわたしたちに対する問いかけでもあるのではないのでしょうか。「あなたがたは平和であるように、努力しているか」という問いかけです。二〇〇〇年も前から平和になるようにと言われながら、そのみ言葉を無視するかのよう

界の歴史は、平和からは程遠い争いと混乱の連続でした。そして今の社会の現実を見ると、昨年はアフガニスタン、今年はいラクというように、多くの人が命を落とし、傷つけられ、平和でない事実が明らかです。戦争だけでなく、暴力、貧困、飢餓、差別、病気、等々の現実がわたしたちを取り囲んでいます。

また、わたしたちの日常生活に目を向ければ、いじめや虐待、家庭内暴力、不登校やひきこもり等、心穏やかに日々の生活を送ることのできない人たちがいます。また、難病・重病と闘い、不安な日々を過ごす人たちも多

くいます。このようにわたしたちの隣人が、心の平和を失っているという現実があります。

それでは、わたしたちはこの現実の中で無力なのでしょうか。イエスが言われた平和を実現するために、何もすることは出来ないのでしょうか。戦争を終らせることは出来なくても、一人でも、隣人の心の平和のための道具になることは出来るのではないのでしょうか。一人一人は無力量もありませんが、一人ではできなくても、大勢が集うて知恵と力を合わせれば、あるいは戦争を止めさせることが出来るのかもしれない。わ

たしたちはすべての人が平和になるように、神様の助けを祈り求めながら、神様とともに行動することが求められていると思います。そのような意味で、わたしたちが交わす「主の平和」の挨拶は、本当の挨拶にならているのでしょうか。今年の教区フェスティバルが、わたしたちの一人一人が現実を目に向け、平和の道具となることを真剣に考えるよい機会であることを願っています。

『主の平和！』
（実行委員長 司祭鈴木裕二）
それでは、平和の挨拶を交わしましょう！

しての平和のみならず、身近な平和について、また自分たちの課題としての平和について、様々な祈りをささげたい共に、「主の平和」を求め

討しております。

1 ことも大人も可能な限り共に礼拝することができるとします。但し、こどもたちの参加の仕方については、通常のことものための礼拝よりも長時間であることを考慮し、今後ボランティアの方々のご協力をいただきながら、工夫していく予定です（小学生を対象として、礼拝の途中で隣接の体育館での時間を設け、平和のあいさつ）から再度合流することを考えております。

作成を行います。また会場最寄り駅から立教女学院内会場への車椅子での移動地図を作製して各教会へ事前に配布する予定です。（2）ハングル、カタカナ、英語の礼拝式文を当日ご用意いたします。

2 聖餐式中の「平和のあいさつ」に十分時間を取ります。
3 共に礼拝することを表すために、「歌う」ということを大切にします。
4 当日のテーマに沿った、特祷の作成、聖書日課の選定を行います。
5 例年行っていることとして、（一）教区「障害者」関連活動連絡会と連携しながら、礼拝中の手話通訳、OHHP 要約筆記、点字礼拝式文

6 施設奉献先は、教区フェスティバルのテーマにふさわしいところを数力所検討中です。尚、皆さまが当日お持ちくださるお米、浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため（や洗濯用洗剤）きぼりの家のため（も、奉献の際シンボリカルに信施と一緒ににお届けしたいと考えております。
7 東京教区が一堂に会することを具体的に表すために、各教会のパナーをお持ちいただきます。パナー設置の安定のために予め会場に設営いたします関係上、事前に連絡員の方々にご持参いただくようご協力をお願い申し上げます。その他詳細につきましては、教区礼拝音楽委員会や教区聖

礼拝について

東京教区に連なる皆さまに、主の平和をお祈り申し上げます。

『2003年教区フェスティバル』当日は、午前10時半の聖餐式から始まります（於、立教女学院聖マリア礼拝堂）。

司式者は植田仁太郎教区主教、説教者は西村哲郎司祭、聖ルカ礼拝堂囑託です。

今年のフェスティバルのテーマでもある、「主の平和」へ思いを馳せ、共に「主の平和」を願う時となるよう、礼拝担当部会メンバー一同準備を進めております。戦争の対義語と

現在、次のようなことを検

歌隊また各教会の礼拝での役割を担っていただく方々と連絡を取らせていただきながら準備を進めております。

(礼拝担当
司祭笹森田鶴)

イベントについて

フェスティバルの今年のテーマ「主の平和」について考え話し合い行動できればと願いながら、午後のプログラムのイベントを決めました。

「主の平和」とは、単に戦争がないという状況を示すものではなく、一人一人が人間として十分に尊重されている状態を言うのではないでしょう。か。そのような広い意味での平和である。「主の平和」のイベントにしてゆきたい思いから、盛り沢山になりました。短い時間ですが、「主の平和」にお一人お一人取り組んでくださいますようにと願っています。

1 フリーマーケット

昨年はじめて行い、今年は二回目になります。昨年と同様に、教会単位とは限りません。個人グループ、教会員以外の方々も参加してください。出店だけではなく、賜物を出して、今までの出店のイメージを越えてください。ある方は子どもたちと一緒に遊びましょつといつコーナーも企画されているそうです。いろいろなフリーマーケットを実施してください。

以下、詳細をお知らせします。
出店の申込み期間は7月1日～8月19日です。
出店時間 礼拝終了後、午後2時半。
出店場所 立教女学院中庭(雨天時は短大ヒロライゼントホール下の屋根の下)。
会場においては実行委員会
の指示に従ってください。
申込み締切り後、個別にご相談・アレンジの可能性もありますのでご了承ください。店名をのべてください。
つり銭、その他必要な器材は各自でご用意ください。但し、椅子は礼拝堂内のものを
お貸しします。必ずしう返却

ください。

「3」は各出店者でお持ち帰りください。

食品関係は出品する場合は衛生・安全管理(火の扱い等)を各自で確実に。

雨天時の場合には、会場が屋内になりますので、火の取扱いは出来ません。

駐車場が限られていますので搬出入の車の使用は調整させていただきます。

また終了後はその後のプログラムに参加ください。

2 平和トーク

前述しましたように、戦争反対は勿論のこと、「主の平和」を妨げる広い意味での平和についてじっくりと話し合う時間をとりました。

発題者として、聖公会から西原美香子さん、中部教区岡谷聖ルルバ教会信徒 NCC 平和・核問題担当(幹事)と他教派から平良愛香さん、日本基督教団牧師、NCC 平和・核問題委員会委員にお願ひしました。いろいろな角度で、「主の平和」を語り合ひましょつ。

場所は短大教室、時間は午後1時45分～3時。その後聖マリヤ礼拝堂に移動して「コンサート」の聴衆と合流します。

3 平和コンサート

「主の平和」を多角的に知る意味で、今年には沢知恵さんの「コンサート」を開催します。

沢さんのお父様は沢正彦牧師、お母様は金麿キムヨウ牧師、いずれも日本基督教団です。二〇年ほど前の日曜日訴訟、主日礼拝を大切にすため、日曜登校を拒否して欠席扱ひされたで

知恵さんは第一原告人になりました。そのような信仰と平和を証し、歌ってくださいませ。

「コンサート」としては短い時間ですが、沢さんの信仰が歌を通して

して知ることができるようにと願っています。

チケットは、小学生以上五〇〇円です。それ以下の子どもは保護者同伴とします。教会以外の多くの方々にチケットをお勧めください。

4 クロージング・セレモニー

「主の平和」についてテーマで開催してきたフリーマーケット、平和トーク、平和コンサート、それぞれの参加者の、「主の平和」を分かち合う時間です。そして、祈りと歌でハレルヤ、主のみ名に於て「アーメン」と出かけて行きましょつ。

(イベント担当
司祭 井口 諭)

平和コンサート
チケット
販売中...500円

各教会にて
どうぞあらかじめお買
い求めください

「浅草聖ヨハネ教会」給
食活動のためにお米!
「きぼうの家」のために
洗濯用洗剤!
...を奉獻としておさ
げください。

ご案内

一般

- ・ 立教女学院は京王井の頭線「三鷹台駅」より徒歩3分です。
- ・ お車でのご来場はご遠慮ください。
各出店者、「障害者」・高齢者など特に必要な方にはお申し出によって駐車票を配布致します。駐車票がないと駐車できません。
- ・ 「障害者」支援受付を用意いたします。必要なことをどうぞお申し出ください。
「障害者」用トイレは聖マリア礼拝堂入り口にあります。
- ・ 雨が降った場合、ビニール袋を用意いたしますが、傘の管理は各自でお願いします。
- ・ 「浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動」のためお一人お米1カップ、山谷すみだリバーサイド支援「きぼうのいえ」のため洗濯用洗剤をお持ちくださるようお願いいたします。

礼拝

- ・ 礼拝開始は10時30分。聖餐式です。日本語・英語、ハングル、その他の式文用意します。
- ・ こどもたちは途中、体育館に移動します。体育館は土足禁止ですので、こども、保護者の皆様は靴袋などを各自ご用意ください。
- ・ 礼拝堂内にて、手話通訳、OHPなどあります。
- ・ 各教会、礼拝堂のバナー、シンボルはロープに通して2階ピロティから吊り下げられるような形で第2回連絡会(8月31日)にお持ちください。
- ・ 礼拝で捧げられる信施の奉献先は、8月31日号教区時報にてお知らせします。献金袋を第2回連絡会にて各教会・礼拝堂に配布します。当日受付にてお捧げください。

イベント

- ・ フリーマーケットの準備 ----- 9:00 ~ 10:20
礼拝前には準備を中断していただき、全員、聖餐式にご出席ください。
- ・ フリーマーケット----- 礼拝後イベント開始の祈り~ 14:30
- ・ 「平和」を語ろう----- 13:45 ~ 15:00
会場は短大の教室。どうぞ、お集まりください。入場無料。
- ・ 沢知恵・平和コンサート----- 14:30 ~ 15:15
リハーサル中また演奏中は聖マリア礼拝堂に出入りなされないようお願いいたします。
- ・ クロージング・セレモニー ----- 15:15 ~ 15:30
全員聖マリア礼拝堂に集まり、「平和への思い」をひとつにし、フェスティバルを閉じます。時間厳守でお集まりください。後片づけにご協力ください。

お弁当

- ・ 注文制となっております。各教会・礼拝堂の注文票にてお申し込みください。
- ・ 短大食堂にて、食券と引き換えます。できるだけ食堂でお召し上がりください。
お弁当のごみは食堂で処理しますが、その他のごみは各自お持ち帰りくださるようお願いいたします。

ボランティア

- ・ いろいろなボランティアを募集中です。各教会・礼拝堂に案内、申し込み書を配布しておりますので、なにかできることを見つけて、是非お申し出くださるようお願いいたします。